

令和6年度(2024年度)

環境活動レポート

エコアクション21

(活動期間 令和6年4月～令和7年3月)

有限会社 プライムクリエイト

作成日

令和7年5月28日

組織の概要

事業所名	有限会社 プライムクリエイト		
代表者名	代表取締役 大木 高典		
所在地	茨城県水戸市大塚町247-1		
連絡先	Tel	029-255-3335	Fax 029-254-6080
	URL	http://www.primecreate.com	E-mail info@primecreate.com
事業内容	廃棄物の収集運搬業務		
設立年月日	平成3年11月19日		
資本金	1,300万円		
売上高	394.12 百万円 (令和5年11月～令和6年6月 決算月変更)		
従業員数	21人(令和7年4月現在)		
延床面積	329平方メートル(事務所 162平方メートル)		
駐車場面積	1,535平方メートル		
保有運搬車両	18台(令和7年4月現在)		
	2tパネル車	1台	2tクレーン車 1台
	3tパッカー車	1台	3tクレーン車 2台
	4tパッカー車	1台	6t平ボディ車 1台
	4tアームロール車	5台	4tクラム車 1台
	10tアームロール車	3台	6tクラム車 1台
	10tダンプ車	1台	

保有許可

【産業廃棄物収集運搬業】

都道府県 市町村	許可年月日 有効年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん
茨城県	00801025295 令和4年11月7日 令和11年11月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
栃木県	0900025295 令和5年11月14日 令和12年11月13日	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
千葉県	01200025295 令和6年12月5日 令和13年11月24日		○	○			○	○	○	○	○		○	○		○	
埼玉県	01107025295 令和4年1月27日 令和9年1月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	
福島県	00707025295 令和5年9月28日 令和12年8月5日	○	○				○	○	○	○			○	○		○	
宮城県	00400025295 令和5年8月8日 令和12年8月7日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
東京都	13-00-025295 令和6年12月20日 令和13年12月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県	01400025295 令和6年10月2日 令和11年10月1日	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

保有許可

【特別管理産業廃棄物収集運搬業】

都道府県	許可番号 許可年月日 有効年月日	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性産業 廃棄物	廃石綿等
茨城県	00851025295 令和4年11月7日 令和11年11月6日	○	○	○	○	○
栃木県	00950025295 令和5年11月14日 令和12年11月13日	○	○	○		
宮城県	00450025295 令和5年8月8日 令和12年8月7日	○	○	○		

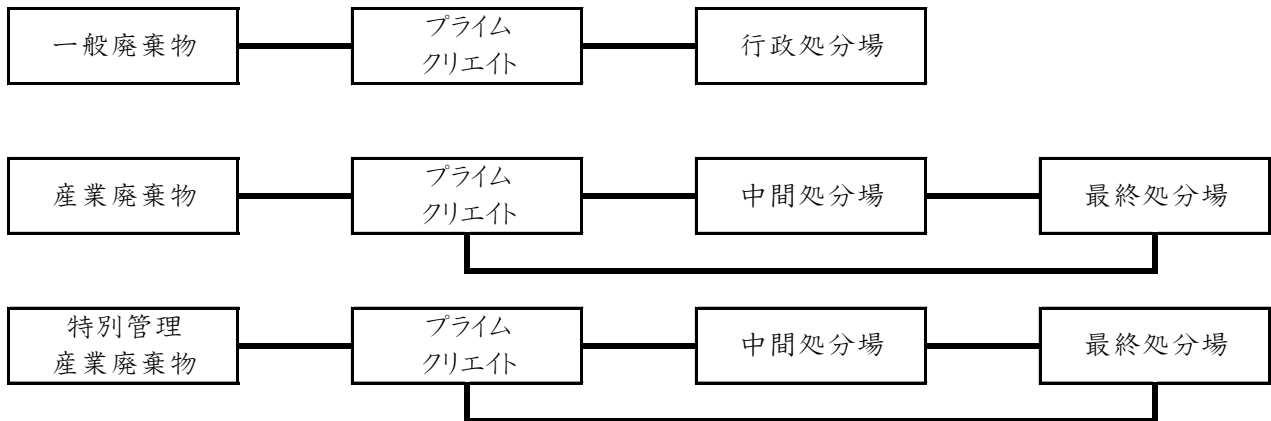
【一般廃棄物収集運搬業】

市町村	許可の年月日	許可の有効年月日	許可番号
水戸市	令和4年4月1日	令和4年6月31日	指令第118-35号
	令和6年4年1日	令和8年3年31日	指令第100号
常陸大宮市	令和4年3月25日	令和6年3月24日	指令第12号
	令和6年3年25日	令和8年3年24日	指令第11号
那珂市	令和4年3月25日	令和6年3月24日	指令第135号
	令和6年3年25日	令和8年3年24日	指令第3号

事業計画の概要

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業務において、事業者の分別排出の協力を得て、再資源化のために可能な限りの分別回収・運搬に努めます。

廃棄物の流れ



受託した一般廃棄物処理量

令和6年4月～令和7年3月 総処理量	363.5 t
那珂市・常陸大宮市	85.9 t
水戸市	277.6 t

受託した産業廃棄物処理量

令和6年4月～令和7年3月 総処理量	15,225.7 t
木くず	3,430.7 t
廃プラスチック	1,487.4 t
がれき類	2,517.0 t
ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	2,538.6 t
混合廃棄物	2,674.7 t
その他の産業廃棄物	2,577.3 t

受託した特別管理産業廃棄物処理量

特別管理産業廃棄物	92.5 t
感染性	61.8 t
廃油	30.7 t

対象範囲(認証・登録範囲)

有限会社 プライムクリエイト

茨城県水戸市大塚町247-1

廃棄物の収運にかかわる業務の全組織・全活動を対象

レポートの対象期間

期間 令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日

レポートの作成日・修正日

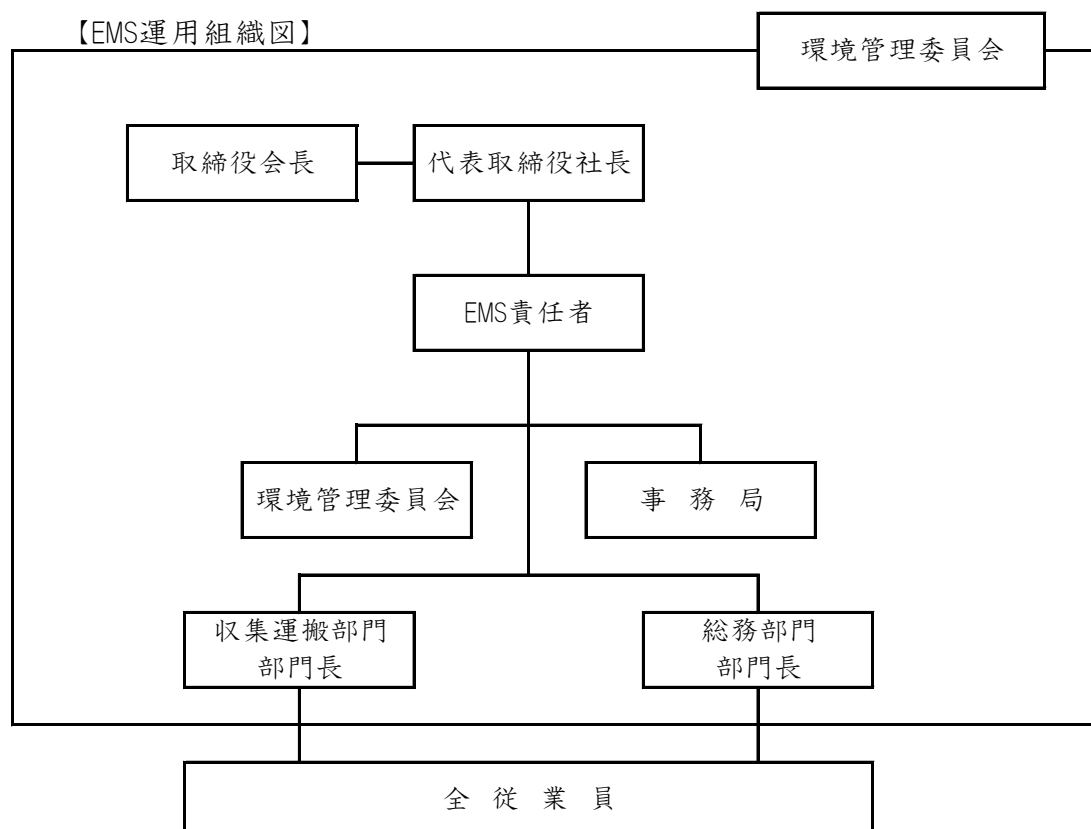
作成日 令和7年5月28日

環境保全関係の責任者及び担当者

EMS責任者 高安 隆

事務局 新原 晋

EMS実施体制



環境方針

基本理念

有限会社プライムクリエイトは、廃棄物の収集運搬業務を行うにあたり循環型社会システムの構築に貢献することを目的とし、環境への負荷を削減し地球環境の保全に積極的に取り組むために以下の方針を定め、実施し、維持します。

基本方針

1. 環境関連法規等を遵守し、環境汚染の防止に努めます。
2. 環境負荷の削減のため以下の活動に積極的に取り組みます。
 - 温室効果ガス排出量の削減
 - 廃棄物発生量の削減
 - 排水量の削減
 - 産業廃棄物排出事業者への分別排出の推進
3. 全従業員の環境に対する意識の向上を図るため環境教育を実施します。
4. 環境マネジメントシステムの維持向上のため継続的な改善に努めます。
5. 環境方針は全従業員に周知徹底し、一般の人々にも開示します。

2022年4月1日 改定

有限会社 プライムクリエイト

代表取締役 大木 高典

環境目標

目標項目		基準値(5年度実績)	6年度目標	7年度目標	8年度目標
二酸化炭素排出量削減		431,947kg-CO2	431,947	423,308(仮)	418,988(仮)
			99.00%	98.00%	97.00%
軽油	大型車両	燃費 4.28km/ℓ	4.28km/ℓ	4.28km/ℓ(仮)	4.28km/ℓ(仮)
	中型車両	燃費 6.50km/ℓ	6.50km/ℓ	6.50km/ℓ(仮)	6.50km/ℓ(仮)
+	ガソリン	6,129.03 ℓ	6,119.0 ℓ	6,109.0 ℓ	6,099.0 ℓ
+	灯油	180.0 ℓ	180.0 ℓ	180.0 ℓ	180.0 ℓ
+	電気	19,210.1 kWh	19,185.1 kWh	19,160.1 kWh	19,135.1 kWh
社内廃棄物(可燃物)排出量の削減		163.0kg	160.0 kg	157.0 kg	154.0 kg
排水量の削減(水道使用量)		418.3m ³	417.3 m ³	416.3 m ³	415.3 m ³
受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合の削減		19.3%	18.8%	18.3%	17.8%

- 目標設定 CO2 CO2排出量の目標は、各項目の目標の合計。
7・8年度は軽油使用量、ガソリン使用量を前年度実績としているため仮目標となる。
- 燃費 古い車の経年劣化・新車の安全装置や環境装置の装着による車重増のため燃費が伸びずらく燃費向上を目指す。7・8年度の目標としては前年度実績とする。
- ガソリン 5年度実績を基準年とし目標を設定(毎年度-10ℓ)。
灯油 年間(冬期)使用量180ℓの維持管理。
電気 5年度実績を基準年とし目標を設定(毎年度-25kwh)。
- 社内廃棄物 5年度実績を基準年とし目標を設定(毎年度-3.0kg)。
排水量 5年度実績を基準年とし目標を設定(毎年度-1.0m³)。
混廃割合 5年度実績を基準年とし目標を設定(毎年度-0.5%)。
- 受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合 混廃量÷産廃量=混廃割合(%)
この目標での産廃量とは (紙くず・木くず・廃プラスチック・がれき類・金属くず・ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず・コンクリートがら)+(混廃)としています。
※2024年環境レポート内目標設定変更

環境活動計画

- 二酸化炭素排出量の削減
 - 軽油 - 走行時の過度なスピードアップ・作業時のアイドルアップを行わない
 - ガソリン - 効率の良いルートを選択
 - 灯油 - ストープ使用時の扇風機の使用(空気循環)
 - 電気 - エアコンの設定温度の徹底
- 社内廃棄物排出量の削減
 - 使用済み用紙の資源排出
- 排水量(水道使用量)の削減
 - 効率の良い洗車
- 受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合の削減
 - 排出事業者への分別排出の勧め

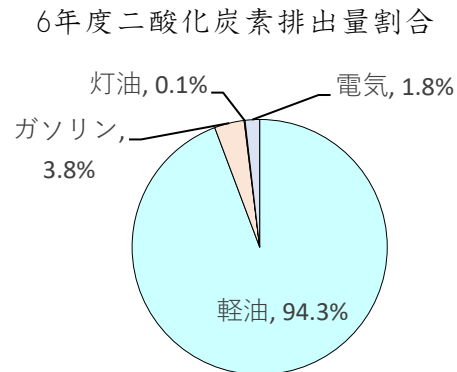
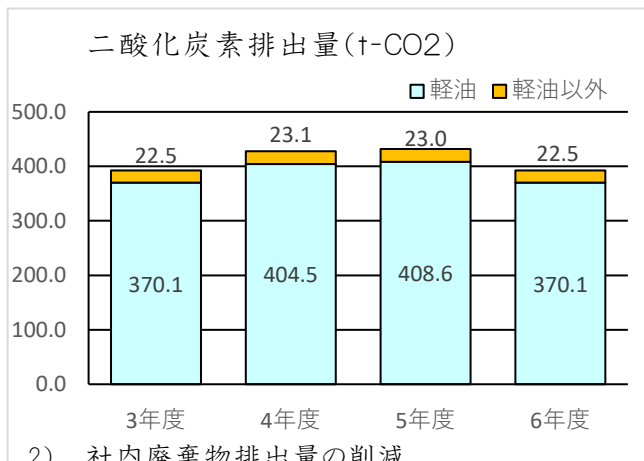
環境目標の実績

1) 二酸化炭素排出量の削減

	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
二酸化炭素(kg-CO2)	431,947	392,635		
前年度実績比	99.0%	110.0%		
軽油 kg-CO2 = ℓ × 2.62434	155,706 ℓ 408,625	141,044 ℓ 370,147		
ガソリン kg-CO2 = ℓ × 2.32166	6,129 ℓ 14,230	6,391.04 ℓ 14,838		
灯油 kg-CO2 = ℓ × 2.49193	180 ℓ 449	180 ℓ 449		
電気 排出係数 kg-CO2 = kWh × 係数	19,210 kWh ※0.45469 8,643	15,839 kWh ※0.45469 7,202		

※電気 使用電力会社①社+②社 0.45456986 ÷ 係数0.45469

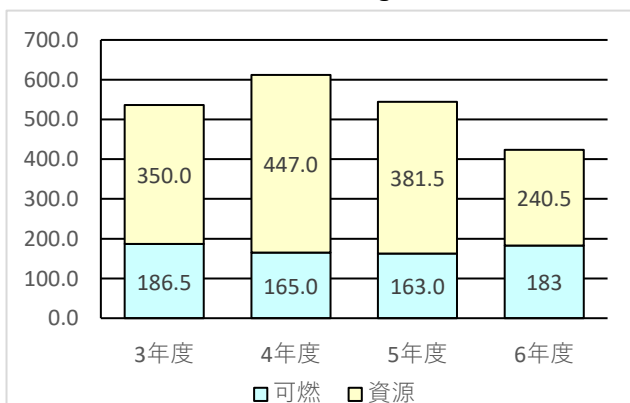
	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
大型車両燃費	4.28km/ℓ	4.32km/ℓ		
中型車両燃費	6.50km/ℓ	6.98km/ℓ		
全車両燃費	5.45km/ℓ	5.69km/ℓ		



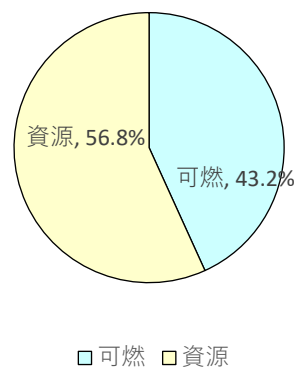
2) 社内廃棄物排出量の削減

	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
可燃物排出量	163.0kg	183.0kg		
前年度比 割合	98.8%	29.9%	89.1%	43.2%
資源物排出量	381.5kg	240.5kg		
前年度比 割合	85.3%	70.1%	158.6%	56.8%
社内廃棄物合計	544.5kg	423.5kg		
前年度比	112.4%	128.6%		

社内廃棄物排出量(kg)



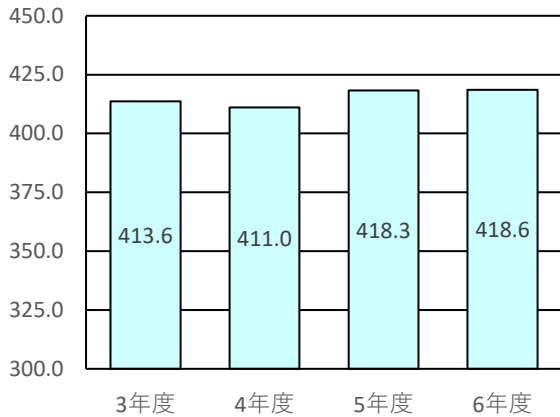
6年度社内廃棄物排出量割合



3) 排水量(水道使用量)の削減

	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
水道使用量	418.3 m ³	418.6 m ³		
前年度実績比	98.3%	99.9%		

6年度排水量＝使用量(m³)

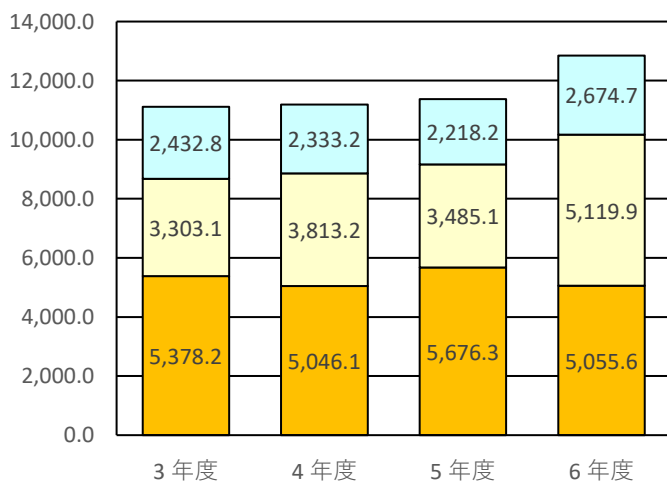


4) 受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合の削減

	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
混廃割合 (混廃量÷産廃量)	19.3%	20.8%		
産廃量	11,464.1 t	12,850.2 t		
前年度実績比	102.4%	112.1%		
混廃量	2,218.2 t	2,674.7 t		
前年度実績比	95.1%	120.6%		

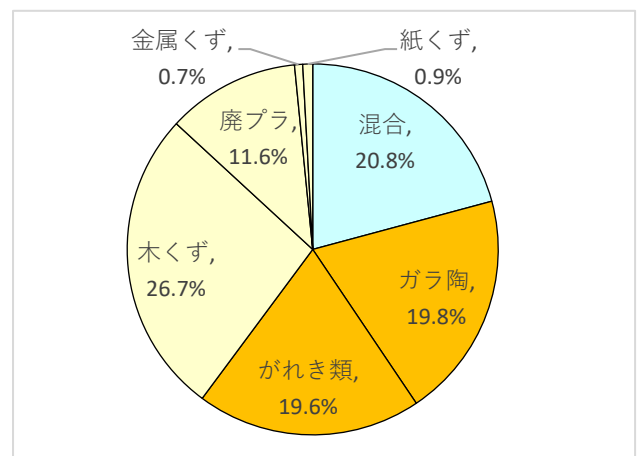
※産廃量＝(紙くず・木くず・廃プラスチック・がれき類・金属くず・ガラ陶)+(混廃)

産業廃棄物(混廃)運搬量(t)



■重量物 重量物以外 混合 □重量物以外 □混合

6年度産業廃棄物運搬割合



環境活動計画の取組結果とその評価

1)二酸化炭素排出量の削減	目標 432,311.8kg-CO2	実績 392,635.2kg-CO2	達成率 110.1%	○
---------------	-----------------------	-----------------------	---------------	---

※ 達成率 = 目標 ÷ 実績

環境活動計画	結果	評価	来年度の取組
軽油 過度な走行時のスピードアップ・作業時のアイドルアップを行わない	行われました。	○	過度な走行時のスピードアップ・作業時のアイドルアップを行わず、使用量の削減に努めます。
ガソリン 効率の良いルートを選択	行われましたが目標未達。	△	効率の良いルートを選択し、使用量の削減に努めます。
灯油 ストーブ使用時の扇風機の使用 (空気循環)	行われました。	○	活動継続。使用量の維持、削減に努めます。
電気 エアコンの設定温度の徹底	行われました。	○	活動継続。エアコンの設定温度を徹底し、使用量の削減に努めます。

車両燃費は大型、中型車燃費の目標を達成することができ、評価を○としました。
ガソリンに関しては営業活動増加に伴い目標未達になりました。
電気はエコ製品の購入、設置により削減できました。

2)社内廃棄物(可燃物)排出量の削減	目標 160.0 kg	実績 182.5 kg	達成率 87.7%	×
--------------------	----------------	----------------	--------------	---

※ 達成率 = 目標 ÷ 実績

環境活動計画	結果	評価	来年度の取組
使用済み用紙の資源排出	行われませんでした。	×	活動継続。使用済み用紙の資源化を強化し、可燃物排出量の削減に努めます。

単月の可燃物排出量が多く、目標を達成することができませんでした。
引き続き資源物割合を増やして可燃物排出を減らしていきます。

3)排水量(水道使用量)の削減	目標 417.4 m ³	実績 418.6 m ³	達成率 99.7%	△
-----------------	----------------------------	----------------------------	--------------	---

※ 達成率 = 目標 ÷ 実績

環境活動計画	結果	評価	来年度の取組
効率の良い洗車	行われました。	○	活動継続。来年度も効率良く洗車を行い、排水量削減に努めます。

目標を達成することはできませんでしたが、節水の活動が確認できたので評価を○とします。
漏水、事業活動以外での水量を除いては節水活動を確認できました。

「○」= 実施or達成された場合

「△」= 未達成だが達成値の95%以上など、努力を評価できる場合

「×」= 実施or達成されなかった場合

環境活動計画の取組結果とその評価

4)受託した産業廃棄物の収集運搬量 混廃物の割合	目標 18.8%	実績 20.8%	達成率 90.4%	×
-----------------------------	-------------	-------------	--------------	---

※ 達成率 = 目標 ÷ 実績

環境活動計画	結果	評価	来年度の取組
排出事業者への分別排出の勧め	行われましたが目標未達。	△	来年度も引き続き排出事業者への分別排出推進を行っていきます。

混廃の割合が多く目標を達成することができませんでした。

引き続き分別の協力をお願いしていきます。

「○」=実施or達成された場合

「△」=未達成だが達成値の95%以上など、努力を評価できる場合

「×」=実施or達成されなかった場合

次年度の取組内容

目標項目		基準値(5年度実績)	6年度目標	7年度目標	8年度目標
二酸化炭素排出量削減		431,947kg-CO2	431,947	423,308(仮)	418,988(仮)
			99.00%	98.00%	97.00%
軽油	大型車両	燃費 4.28km/ℓ	4.28km/ℓ	4.32km/ℓ(仮)	4.32km/ℓ(仮)
	中型車両	燃費 6.50km/ℓ	前年度実績	前年度実績	前年度実績
+	ガソリン	6,129.03 ℓ	6,124.0 ℓ	6,119.0 ℓ	6,114.0 ℓ
+	灯油	180.0 ℓ	180.0 ℓ	180.0 ℓ	180.0 ℓ
+	電気	19,210.1 kWh	19,185.1 kWh	19,160.1 kWh	19,135.1 kWh
社内廃棄物(可燃物)排出量の削減		163.0kg	160.0 kg	157.0 kg	154.0 kg
排水量の削減(水道使用量)		418.3m ³	417.3 m ³	416.3 m ³	415.3 m ³
受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合の削減		19.3%	18.8%	18.3%	17.8%

- 目標設定 CO2 CO2排出量の目標は、各項目の目標の合計。
7・8年度は軽油使用量、ガソリン使用量を前年度実績としているため仮目標となる。
- 燃費 古い車の経年劣化・新車の安全装置や環境装置の装着による車重増のため燃費が伸びずらく燃費向上を目指す。7・8年度の目標としては前年度実績とする。
- ガソリン 5年度実績を基準年とし目標を設定(毎年度-5ℓ)。
灯油 年間(冬期)使用量180ℓの維持管理。
電気 5年度実績を基準年とし目標を設定(毎年度-25kwh)。
- 社内廃棄物 5年度実績を基準年とし目標を設定(毎年度-3.0kg)。
排水量 5年度実績を基準年とし目標を設定(毎年度-1.0m³)。
混廃割合 5年度実績を基準年とし目標を設定(毎年度-0.5%)。
- 受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合 混廃量÷産廃量=混廃割合(%)
この目標での産廃量とは (紙くず・木くず・廃プラスチック・がれき類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・コンクリートがら)+(混廃)としています。

環境活動計画

- 二酸化炭素排出量の削減
 - 軽油 - 走行時の過度なスピードアップ・作業時のアイドルアップを行わない
 - ガソリン - 効率の良いルートを選択
 - 灯油 - ストープ使用時の扇風機の使用(空気循環)
 - 電気 - エアコンの設定温度の徹底
- 社内廃棄物排出量の削減
 - 使用済み用紙の資源排出
- 排水量(水道使用量)の削減
 - 効率の良い洗車
- 受託した産業廃棄物の混合廃棄物割合の削減
 - 排出事業者への分別排出の勧め

環境関連法規等の遵守状況

廃棄物処理業関連法規等の名称 (一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物)	遵守事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	許可申請・更新	○
	適正処理	○
	帳簿の記載・保存	○
	名義貸し禁止	○
	委託禁止	○
	管理票の携帯・送付・保存	○
茨城県廃棄物の処理の適正化に関する条例	事業報告書作成・提出	○
茨城県廃棄物処理要項	産業廃棄物収運搬車両の表示・許可証の備付	○
水戸市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	一般廃棄物処理業許可関連	○
那珂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	一般廃棄物処理業許可関連	○
常陸大宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	一般廃棄物処理業許可関連	○
千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱	県外産業廃棄物の県内処分の事前協議関連	○
埼玉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱		○
埼玉県県外産業廃棄物事前協議制度		○
栃木県県外産業廃棄物の最終処分に関する指導要綱		○
福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例		○
非飛散性アスベスト廃棄物の適正処理 石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)	非飛散性アスベスト廃棄物に含まれるアスベストの飛散防止	○
環境関連法規等の名称	遵守事項	遵守状況
エネルギーの使用の合理化に関する法律	消費性能等が優れている車両の使用・合理的な運転又は操縦	○
水質汚濁防止法	汚水又は廃液による公共用水域又は地下水の水質の汚濁の防止	○
浄化槽法 茨城県浄化槽指導要綱	保守点検・清掃	○
自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法	排出の抑制のために必要な措置を講ずる	○
道路交通法	道路における危険を防止・運転免許証の更新	○
道路運送車両法	点検整備・自動車検査証の交付	○

※ 遵守 = ○ 違反 = ×

違反、訴訟等の有無

環境関連法規の違反・指導等はありませんでした。
訴訟に関しても同様ありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果

見直し結果

「実績と中期目標をもとに環境目標の策定」

- 「燃費向上」は車両稼働割合変化により目標値に達しました。
- 「電気使用量削減」はエコ製品の購入、設置により目標を達成できました。
- 「可燃物削減」は目標を下回るの数値となりました。

「車両ごとの燃費向上」

- 車両人員の分配がうまくいき、「車両全体」が目標を達成できました。

「冬期のストーブ利用」

- 前年度と同じ使用量で終わりました。

「社内資源物割合増」

- 可燃物を削減することができず、資源割合も低くなってしまいました。

評価

軽油は前年同様大型車両(低燃費車)の稼働割合減、大型車の高燃費車両の稼働増、中型車両の燃費改善を行うことができました。
常に、車両運用効率の徹底を担当者にさせたことにより良い結果が生み出せました。
各ドライバーの意識の変化を感じました。

今回ガソリン使用や廃棄物排出量の増加は営業の増加、活動増など様々な要因で目標が達成できませんでしたが、目標を達成できなかった結果より削減しようとした努力過程を忘れずに行動するように従業員に意識をすることを求めます。
目標達成を目標にすることはもちろんですが、さらなる高みを目指し、環境に配慮できる人になるよう教育できる組織になることを期待します。